

夏を制する者は、受検を制す!

夏から受検合格に向けて、勉強を頑張ると受検に合格できるという昔からある名言です。夏は自分でスケジュールングをして、計画的に勉強ができる最後のチャンスです。ここで、苦手な教科や時間をかけてじっくりを勉強したい所などを重点的に学習するかしないかで、3月笑っているか泣いているかが命運が分かれることでしょう。思い切って1年生や2年生で抜けている部分を勉強してみてもはどうでしょうか？夏に基礎学力の土台を作る事で、「来春が想像できる」はずです。



まずは目標設定から!!

START!
↓
GOAL!!

目標が定まっていなければ、人はやる気ができません。先が見えるからこそ、一步一步頑張ることができるのではないのでしょうか？例えば、マラソンで例えましょう。ゴールが分からないマラソンを走ったとしましょう。先に3キロでゴールと言われてその目標が分かっていたら、もくもくと走ることができますが、ゴールも伝えられない、距離も伝えられないマラソンは非常に長く険しく苦しく感じるものです。

話を戻しましょう。あなたにとってゴールとは何ですか？第一志望校合格ですか？就職試験に合格した時ですか？夢が叶った時ですか？その答えを知っているのはあなた自身です。夏に明確な目標（ゴール）を設定して、受検という壁を乗り越えませんか？ゴールの後の景色（達成感や充実感）は、その道のりを努力した人にしか分からない最高のものですよ😊さあ、頑張りましょう!!



県立高校入試（理科の傾向と対策）

理科



傾向1 水溶液や気体に関する問題が出やすい!

対策1 特に、水溶液の実験や気体の性質の問題が出やすいです。質量パーセント濃度の求め方や溶解度のグラフの読み取り方、主な気体の性質をしっかりと覚えておきましょう。

傾向2 遺伝や細胞分裂に関する問題が出やすい!

対策2 特に、メンデルの遺伝の法則や植物の根の成長を調べる実験の問題が出やすいです。遺伝の規則性、実験操作の理由や根の成長のしくみ、細胞分裂の順序をおさえましょう。



県立高校入試（社会の傾向と対策）



傾向1 ニガテな人が多い、資料を読みとる問題が出る!

対策1 資料を読みとる問題をたくさん解いて慣れることがいちばんの近道です。答え合わせをして理解することを繰り返せば、入試本番までに必ず解けるようになります。

傾向2 ただの暗記では解けない、歴史の並べ替え問題が出る!

対策2 一つひとつのできごとを、ただ暗記するだけでは並べ替え問題を解くことはできません。なぜそのできごとがおこったのか、理由とあわせて暗記を進めることが重要です。



